

シンポジウム 大規模イベントの楽しみは どのように取り戻されてきたか

～ 2025 年大阪・関西万博を見据えて～

開催日時 2023年2月20日（月）午前10：00～12：00

開催方法 Zoom によるオンライン開催（事前申込制） **参加費** 無料

※人数が上限に達した時点で〆切とします。

申込方法 申込フォームからのお申込

<https://forms.gle/t1n8zFuyHd4kijzd7>

※申込時のメールアドレスに Zoom の URL が送付されます。

※申込フォーム（google フォーム）の入力がシステムの関係で難しい場合は、メールにてお問い合わせください。



どなたでも
参加 OK！

趣旨・目的

本シンポジウムでは、Jリーグが行ってきた声出し応援の運営検証（その後の政府による声出し応援の緩和までを含む）、下水疫学に関するオリパラ選手村の実践と大阪・関西万博での適用の展望、大阪・関西万博における感染症対策の準備状況などについて議論します。これまでの大規模集会での感染症対策に関する実践例を共有するとともに、大阪・関西万博の準備に向けて話し合います。

シンポジウムプログラム

（所属、役職名は 2022 年 11 月時点）

取り組みの紹介
10：02～11：02

パネルディスカッション
11：02～11：55

Jリーグの声出し応援再開に向けた
取り組みと計測・感染リスク評価

保高 徹生 氏

産業技術総合研究所
新型コロナウイルス感染リスク
計測評価研究ラボ長

Jリーグの声出し応援再開に向けた
取り組み
入江 知子 氏

公益社団法人日本プロサッカーリーグ
フットボール本部新型コロナウイルス
対策部部長

東京 2020 オリンピックパラリンピック
選手村における下水疫学の実装について

村上 道夫 氏

大阪大学
感染症総合教育研究拠点
特任教授（常勤）

大阪・関西万博開催時における下水疫学
の活用に向けた技術実証の現状と展望

北島 正章 氏

北海道大学大学院工学研究院
准教授
大阪大学感染症総合教育研究拠点
連携研究員

大阪万博における感染症対策の準備
状況 — 健康危機事態体制をつかさ
どる大阪健康安全基盤研究所
からの対応 —

朝野 和典 氏

大阪健康安全基盤研究所
理事長

小林 博幸 氏

塩野義製薬
新規事業推進部長

滝 順一 氏

日本経済新聞
編集委員

主催：大阪大学感染症総合教育研究拠点

共催：産業技術総合研究所新型コロナウイルス感染リスク計測評価研究ラボ、ナレッジキャピタル

協賛：日本リスク学会

助成：日本財団

問い合わせ先：大阪大学感染症総合教育研究拠点（CiDER）科学情報・公共政策部門

MAIL: sipp-et@cider.osaka-u.ac.jp

